

基地いらない 沖縄と連帯 600人で学習&パレード

「横田基地もいらない！沖縄とともに声をあげよう！10・7市民交流集会が10月7日、福生市市民会館大ホールで開催され、全体で600人（東京土建は124人）が参加しました。



桐山都議（右）に要請書を渡す唐鎌西東京支部委員長

「かたか」を上映、午後は報告と発言としてパネルディスカッションを行いました。小柴康男実行委員は主報告として、住宅地に隣接した横田基地は米国・ドイツなどであれば環境アセスで認められない存在だと述べました。4人のパネラーから、①オスプレイ配備に81%が不安を感じるという住民アンケート結果、②トヨタ子作戦は日本を守るのではなく米軍の駐



「オスプレイ飛ばすな」などとコールし横田基地周辺をパレードする参加者

留維持が目的、③2005年の在日米軍再編合意後の横田基地強化、④オスプレイの事故記録からみた危険な運用実態などが報告されました。

地評大会 団結し憲法守る 新国立での改善を報告

9月24日、東京地評第16回定期大会が銀座プロッサム中央会館で開催されました。全

体で308人（東京土建は35人）が参加しました。東京土建の窪田副委員長は、新国立競技場の現場で長時間労働の原因である新規入場者教育の開始時間を改善させた経緯と、初の高裁判決が出る建設アセスト訴訟の取り組みを報告し、地評に大同団結して憲法9条を守る署名



東京土建の取り組みを報告する窪田副委員長

に全力を挙げると決意を述べました。松森事務局長は討論のまとめで、「総選挙、改憲に発言が集中し、働くルールの確立、最賃の闘いでも報告がありました。人づくり革命と対峙していく闘いが本場に求められています。前哨戦は



杉並公会堂で全体会での講演を聴く参加者

社会保障の拡充を 高齢者のつどい1100人

【世田谷・大工・新妻操記】9月22日、杉並公会堂などで第28回東京高齢者のつどいが開かれ、1100人（東京土建は144人）が参加しました。

と題する講演を聞ききました。明治維新150年と2つの憲法について学ぶことができました。午後は杉並公会堂に移動、東北大学名誉教授の日野秀逸さんの「これからの日本、これからのわたしたち」と題する講演を聞き、日本国憲法を守り、社会保障制度の拡充をめざすことの大切さを痛感しました。

総選挙です」と訴えました。新執行部に萩原淳議長が新任、東京土建から井手口行夫副議長（専従）、白滝誠副議長が選出されました。

長（非専従）、松森陽一事務局長（専従）、井澤智幹事（専従）、年森隆広幹事（非専従）が選出されました。



マイクを持って訴える渡邊専従常任中執

辺野古新基地ノ 「沖縄」を総選挙の争点に

10月4日、日比谷野外音楽堂で「辺野古新基地建設を許さない10・4集会」が開催され、2000人（東京土建から18人）が参加しました。主催者の野平晋作さん（「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会）は「沖縄県の許可を得ないまま着工を強行する政府を」と訴えました。

10%はトンデモナイ 消費税引下げ求め3駅宣伝

9月25日、安倍首相は記者会見で、28日の臨時国会冒頭での衆院解散を表明し、過去2回延期してきた消費税10%への引き上げを2019年10月から実施すると説明しました。

この日、全建連東京都連は「消費税増税阻止キャラバン行動」として、正午頃から2時間おきで有楽町マリオン前、渋谷駅ビックカメラ前、新宿駅西口で宣伝行動を行いました。118人（東京土建から58人）が参加しました。



「辺野古新基地 NO!」のボードを掲げる集会参加者

議員が駆けつけ、司会が紹介されました。最後に集会用のピールを拍手で採択し、東京方面に向けてデモ行進を行いました。

西東京 五輪の入場行進も 桐山都議（都民）と懇談

【西東京】書記・石島淳通信員9月9日、西東京支部事務所（都民ファーストの桐山ひとみ都議会議員と懇談を行いました。支部から唐鎌委員ら唐鎌委員長など8人が参加しました。

懇談冒頭、支部から建設国保費補助賛同署名の感謝を伝え、具体的な要望項目として、①建設国保の育成強化②支部集団健診時の西東京市のがん検査制度の利用③地域防災活動の強化と空き家対策への地元建設業界の活用④東京オリンピックでの建設労働者の入場行進⑤都民ファーストが公約として掲げた、ライフワーク・バランス確立推進条例の具体化を建設組合とも連携し進めることなどを要請しました。

現在都議会厚生委員会副委員長を務める桐山議員からは、東京都の医療、保健事業などの説明をうけました。桐山議員は、元新体操団体日本代表選手だったこともあり、東京オリンピックでの建設労働者の入場行進に興味を示しました。また、子どもの受動喫煙の問題をあげ、関係団体などからヒヤリングを行なっていることとしました。最後に西東京市議会会派との懇談へ向けた協力と、継続的な懇談をお願いしました。